

各WGにおける検討の進捗状況

(介護人材)

① 評価基準の概要（別添1、2）

「できる」の評価基準案を作成し、現在、実証事業において検証中。

- 実際に事業所・施設で使ってもらえるよう、「簡素かつ分かりやすい基準」で、「汎用性のある」「OJTツールとして、現場感覚に合った有効なもの」とする。
- 大・中・小項目及び小項目毎の複数のチェック項目で構成。大項目については、「基本介護技術」、「利用者視点」、「地域包括ケア」、「リーダーシップ」から構成。

② 実証事業の実施状況（別添3）

- 23年12月より約100事業所・施設を対象として開始し、1月中に内部評価、2月後半に外部評価を実施予定。
- 実証事業では、次を検証。
 - ・レベルの定義が現場感覚に合っているか
 - ・評価（チェック項目）の妥当性
 - ・OJTツールとして活用できるか
 - ・外部評価の妥当性

(カーボンマネージャー)

① 評価基準の概要（別添4、5）

- 標準育成プログラムは、「省エネ分野」及び「温室効果ガス削減等分野」について、レベルごとに必要な知識項目をWGでとりまとめた。
- 「できる」の評価基準は、省エネ法の定期報告書の作成業務等の業務実績を示す事例に基づいて評価を行うこととし、評価の実施体制について引き続き検討中。

② 実証事業の実施状況（別添6）

- 23年8月より実施し11月まで全国の6事業者が実施。200名以上が参加し、標準育成プログラムに基づいた研修を受講。

(食の6次産業化プロデューサー)

① 評価基準の概要（別添7、8、9）

「できる」の評価基準案・プログラム認証基準案を作成し、現在、実証事業において検証中。

- 「できる」の評価基準は、「売上・収支」、「商品・サービスの開発」、「販路開拓・プロモーション」、「連携・コーディネート」、「その他のアピールポイント」を加点評価できるものとすることを検討中。

- プログラム認証基準案は、「6次産業化の関連法規・諸制度」、「経営・ビジネスプランニング」、「食品安全・衛生管理」、「食品の生産・加工・流通」から構成することを検討中。

② 実証事業の実施状況（別添 10）

- 23 年 12 月より開始し、2 月末までに既存の人材育成プログラムの提供機関・卒業生や高い実績を上げている実践者に対するヒアリング調査を実施予定。